

消防団たずね歩き



地域と連携し地元の文化と歴史を守っています!

西消防団^{はげたに}櫛谷支団長
高尾 淳

交流・共生を目指すまち

西区は、農村部の緑豊かな自然に加え、魅力的な歴史・文化遺産を数多く有し、「交流・共生」をキーワードにまちづくりを進めています。

ここでは、私たちの地元櫛谷町にある国指定重要文化財の如意寺^{にようじ}をご紹介します。

如意寺の文化財

如意寺は、神戸市西区櫛谷町谷口にあり、大化元年(645年)法道仙人^{はげ}が櫛の木に刻んだ地藏菩薩と毘沙門天を祀ったのが起源とされています。天台宗の仏教寺院で、山号は比金山^{ひきんさん}です。

本堂は老朽化のため解体され、礎石をとどめるのみですが、阿弥陀堂(鎌倉時代)・三重塔(南北朝時代)・文殊堂(室町時代)の3棟が残り、ともに国の重要文化財指定を受けています。

また、山門内には鎌倉時代の作とされる塑像^{そぞう}の金剛力士(仁王)像2体^{あぎょう うんぎょう}(阿形・吽形)が安置しており、これらは兵庫県の文化財指定を受けています。

貴重な歴史・文化遺産を守るために

私たち櫛谷支団は、櫛谷町のほか西神南住宅団地なども管轄する、西消防団の中で一番小さな支団(4分団10班145人)です。

文化財防火デーの消防訓練などを通じて地域との連携を強め、貴重な歴史・文化遺産を災害から守り、次の世代に伝えていきます。



如意寺でおこなわれた消防訓練



金剛力士像・阿形



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

